

発行

京都教育大学同窓会

発行責任者

会長 高向 健次

京都教育大学 同窓会だより

事務局

〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1
京都教育大学内

TEL 075-644-8353

FAX

メールアドレス

dosokai@kyokyo-u.ac.jp



就任にあたって思うこと

京都教育大学同窓会会長

高向 健次



お陰様で、同窓会は会員の皆様方のご協力と各支部役員等の皆様方のご尽力により目標達成に向かって歩み続けています。しかし、様々な課題も生まれています。その一つに同窓会離れがあります。会員増を図る取組で、一人の会員が二人以上の未加入の同窓生に入会してもらおうよう勧誘する「ワン・ツー運動」を継続していますが思うに任せません。「同窓会に入ってどんなメリットがあるのですか？」といった反応もよく耳にします。私に今日があるのは教職に就けたお陰であり、母校で学んで教員免許を取得することができたお陰です。入会により目先のメリットを求めるのではなく、自身の礎を築くことができた母校への寄与と母校で学んでいる後輩学生たちへの支援が、お陰に対する恩返しになるのではないかと考えます。

「お陰様」という言葉には、次のような説もあるそうです。「昔、旅人は、木の陰で休んだり、風よけや雨宿りをしたりしました。木の『お陰様』で旅を続けることができました」という感謝の気持ちをごめた」ものです。木は何も旅人のために枝を張ったり葉を茂らせたりしているわけではありません。しかし、木の「お陰様」で旅ができたという考えをもった昔の人の心根に惹かれます。私たちを支えてくれている目に見えない人やものを常に顧みながら、その人やものへの感謝の気持ちを意識的に言葉に表すという慣わしは尊いものです。日本社会で長年にわたって定着してきた「お陰様」という言葉が最近あまり使われなくなってきました。この言葉がもう一度見直され、活用されるようになったとき、同窓会の入会者も自ずと増えてくるのではないのでしょうか。

会員の皆様には今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今号の内容

- ① 会長挨拶
- ② 定期総会
- ③ 予算・決算・組織事業計画
- ④ 専攻代表者会
- ⑤ 学び舎
- ⑥ 支部だより
- ⑦ 創る
- ⑧ キャンパスライフ
- ⑨ アートフォーラム展
- ⑩ 紫郊体育会の活動
- ⑪ 頑張ります
- ⑫ 特別寄稿
- ⑬ 旧友交歓
- ⑭ 行事・編集後記
- ⑮
- ⑯

定期総会

祝辞

京都教育大学学長

太田 耕人



同窓会定期総会の開催、誠におめでと
うございます。

一昨年よりコロナ感染症が猛威を振
るいまして、本学も例外ではございませ
ん。本学は今、ざっと四千二百人の在
籍者がいるわけになります。このうち
三百四十名ほどがコロナに感染したとい
うことになっております。この三百四十名ほ
どに関しましては、大学がつい先ほどま
ですと聞き取りをして、そして濃厚接
触者を特定するということを繰り返して
参りました。そういう中、同窓会の方か
ら今回のこのコロナ禍におきまして、特別
に奨学金を出していただきました。学生
達はみんな仕送りを受けて下宿をしてお
りますけれども、それと同じぐらいの額
をアルバイトで稼がないとなかなか生活が
していけない。ところが、コロナ禍でアルバ
イトはぱったりなくなっていました。こ
ういう中で、同窓会にお助けいただけ
ましたのは、学生にも大変助けになりま
したが、苦勞しておりました私たちに
りまして大きな励みになりました。

手を携えて前へ進んでいければと思っ
て参りました。戦火の中、食料事情が
悪いか瘦せ細った二人でございました
けれども、学生たちが非常に上手く受け
入れてくれて、もう溶け込んでおります。
さらには、パリンピックには残念ながら
漏れたんですが、その後、三回生の男子
学生が、百メートルで世界記録を上回る
記録を樹立しました。残念ながらスタジ
アムが世界記録仕様でなかったため日本
記録にとどまっておりますが、今現在、
パリンピック日本のT45という分野の日
本記録は彼が持つていて、それは世界記
録を大幅に上回っております。

一方で大学は非常に大きな変革の時
期を迎えております。一つには、国立大
学は六年ごとに時期を区切って計画を立
てていくんですが、その第四期という新し
い時期が始まりました。その準備も大変
でしたが、同時にそれに合わせまして教
職大学院の抜本的な改組というのをいた
しました。文科省の方針で、全ての教育
大学は、それまでの教育学研究科をなく
して教職大学院に統合しなさいというこ
とで、本学も本年から九十五名の大規
模な教職大学院を設けることになりまし
た。ぜひ先生方自身も、それから後輩の
方々にも、この教職大学院への進学や勉
強をお考えくださったらと思っております。

このように大学は、色々な変革を迎え
ておりますが、同時にこれは同窓会の皆
様のご理解とお助けがなければなかなか
順調に進んでまいりません。大学の方も
同窓会との絆を大切にしながらこれから

京都府知事

西脇 隆俊
(代読 木上 晴之)



京都教育大学同窓会総会が多くの皆
様のご出席のもと、三年ぶりに盛大に開
催されますことを心からお祝い申し上げ
ます。

京都教育大学同窓会におかれまして
は、明治四十二年の京都府師範学校
同窓会の発足以来、百十三年の長きに
渡り同窓生の研修や親睦はもとより、
在校生や大学も交えた研鑽と絆づくり
に加え生涯学習の充実・発展にも大き
く貢献されてきたところであり、皆様の
ご尽力に対し深く感謝申し上げます。

創立百四十六年を超える歴史と伝統を
持つ京都教育大学は、学校教育はもと
より社会教育等幅広い分野に優れた人
材を多数排出されております。貴同窓
会におかれて長年にわたり育んでこれ
た思いが次世代に受け継がれ、京都教
育大学における取組と併せて、さらに広
がっていくことにより、京都府のみならず
日本全体の教育界を背負っていく教育者
が育成されますよう、期待しております。

現在、新型コロナウイルス感染症の影
響により日常生活が一変し、働き方の
多様化やデジタル化が急速に進展するな
ど大きな社会の変化が生じていると同
時に、少子高齢化・人口減少への対応や
頻発化する自然災害への備えなど、多
くの課題が立ちはだかっています。さら
に、ロシアによるウクライナ侵攻などの影
響により、原油、原材料、穀物等の価
格が高騰し、物流が不安定化するなど、
社会経済情勢についても、予断を許さ
ない状況となっております。

こうした中、京都府では、まずはコロ
ナから命と健康を守りコロナで傷んだ暮
らしや経済を立て直すとともに、「安心」
「温もり」「ゆめ実現」の三つの柱で、
オール京都で連携しながら「あたたかい
京都づくり」を進めてまいります。

さらに、今後の府政の礎となる総合計
画を一年前倒しで見直したいと考えて
おります。全ての方が未来に希望や夢
を持てる社会の実現に向けて、新たな
総合計画を府民の皆様と作り上げ、そ
の実現に向けた取組を進めたいと考えて
おります。

今後とも、子どもたちが未来の創り
手になるために必要な資質・能力を身
につけることができるよう、教育委員
会はもとより、市町村や関係機関、関係団
体とともにオール京都体制で取り組ん
でまいりますので、引き続き、皆様のご支
援、ご協力をお願い申し上げます。



令和4年度

京都市長 門川 大作



京都教育大学同窓会、三年ぶりの対面での総会、懇親会、ご開催おめでとうございます。教育大学の同窓会であると同時に、京都の教育界の同窓会でもあると、お世話になった先生方ばかりですので、お礼を申し上げたいということで馳せ参りました。

京都の教育を師範学校以来の教育大学の輝かしい伝統、おかげで今、教育先進都市として、子育て環境日本一の京都として、この間、大きな大きな飛躍を見てると言っても過言ではございません。コロナ禍の下で、孤立とか貧困とか格差とか分断とか、またウクライナ状況、あるいは、まさか日本の元総理大臣自身が暗殺されるなんてことが起こる昨今でありますけれども、地に足のついた教育実践改革を進めていかなければならない、そんなことを痛感いたしております。

小中学校の学力、政令指定の都市で、実質トップ水準、小学校、政令指定都市で二期連続一番。非常に質の高い教育を、また時代の変遷に応じた一人ひとりを徹底的に大事にする教育実践を地

域ぐるみで、またPTAと保護者の、また経済界の参画も含めて取り組んでいただいていることに、改めて敬意を表したいと思っております。

しかし、なかなか厳しい状況もございます。家庭の貧困というのが極まってきたというところもまた事実であります。家庭の経済状況によって子どもたちの学び育ちに差がつくということはあってはならないと、そういうことについても皆さん方としっかりと意見交換をしながら取り組んで参りたい、こんなふうを考えております。

昨日、お昼に河原町四条で安倍元総理が来られて、私も知事と一緒に街頭演説する予定でした。夕方は、岸田総理が来られて街頭演説を京都駅前でする予定でした。本日に、こんなことが日本社会で起こるのかと。安倍元総理は、私が教育長している時に官房長官で京都の教育を視察に来られました。ここもみらい館や小学校中学校を見られて、その結果、安倍第一次内閣発足の時に教育再生会議の委員も仰せつかりました。教育現場からの委員というのは実質私だけでありました。印象に残っているのは、朝八時から十時までの会議、二週間に一回、場合によっては一週間に一回、挨拶に来て出はると思たら、ずっと最後まで居はるんですね。特別な用事がない限りは、ずっと、所々メモを取りながら聞いておられる。そんな姿が印象的でした。心からご冥福をお祈りしたいと思っております。

京都市教育長 稲田 新吾



京都教育大学同窓会の令和四年度定期総会、誠にありがとうございました。京都教育委員会にとりましても、毎年卒業生を多く送っていたいただいて、現在、京都市教育の中核的な役割を果たしていただいております。

この間、コロナ禍におきましても、この一月から三月、京都市の学校全体の半数の約二千学級が学級閉鎖というような事態でありましたけれども、教職員の皆さんには、学びの継続をするということで頑張っていたっております。そうした教職員の皆さんにも、同窓会の方々がご支援を賜っておりますこと、本当にありがたく思っております。

昨今、本当に学校教育を取り巻く状況が大きく変容しております。「主体的対話的で深い学び」、あるいは「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両立といった学習の有りようが変化する、また国のギガスクール構想に基づきまして、生徒一人ずつタブレット端末が配られて、学習の手法も大きく変わっております。そうした中で、子どもたちの学びをしっかりと保障する教職員の役割は非常に大きなものがありますし、期待もあるわけですが、昨今、教職を目指す若者が減っているという状況があ

ります。京都市でも、働き方改革を進めようとの間、スクールソーシャルワーカーですとか、スクールカウンセラー、あるいは障がいのある子どもたちのための総合育成支援員、あるいは部活動を支援する部活動支援員というような外部人材を導入するとともに、授業そのものも色々見直しを進めております。中学校の部活動につきましては、土日の分については、外部の委託をするということでも、文部省の指定を受けて取り組んでおりますし、冬の京都の風物詩でありました小学校の大字駅伝についても休止という判断をさせていただいたところでございます。

こうした働き方改革を進めているところですが、一方で、今、巷の言葉で「ゆるブラック企業」というのがある一方で、ブラック企業というのは、時間外勤務が非常に多くて、やめていくというんですが、「ゆるブラック企業」というのは、働き方改革が進みすぎて、あまりにも働きやすいので返って若い人が辞めていくという働きがいがないというようなことがあるようです。これはやはり、働き方改革と働きがい改革というのをしっかりと打ち出していかなければならないなと思っております。

そもそもやはり社会において、子どもを教えるという営みが尊重されるという風潮、あるいはそれを担っていただいている教員の方を敬う風潮というのをずっと醸成していかなければなりませんけれども、教職の魅力というのをしっかりと発信して、若い方がどんどん教師を目指していくような取組をしていきたいと思っておりますので、同窓会の皆様にも協力よろしくお願ひしたいと思っております。

令和4年度 会計予算計画

科 目		予算額(円)	備 考	
収入の部	前年度繰越金	527,500		
	会費・入会金	8,198,000	一般会員・学生会員	
	寄付金	0		
	雑収入	10,015	広告・利息	
	積立金より	0		
計		8,735,515		
支出の部	事業費	行事等経費	80,000	委員会行事
		大学関連費	70,000	大学との共催事業
		学生支援事業費	1,000,000	支援事業
		会議費	270,000	会議交通費
		会報発行費	1,000,000	会報発行・発送
		通信運搬費	630,000	文書送付・払込手数料
		支部事業補助費	600,000	支部への補助
		事務局管理費	2,520,000	
	管理費	賃貸料	260,000	印刷機リース料
		印刷費	120,000	コピー・インク
		消耗品費	80,000	事務用品等
		名簿管理費	40,000	データ入力
		備品関係費	20,000	
		雑費	15,000	日用品
		卒業後運営基金	1,800,000	令和4年度入会学生
		予備費	230,515	
	計		8,735,515	
	収支差額		0	

令和3年度 会計決算報告

科 目		決算額(円)	備 考	
収入の部	前年度繰越金	15,335		
	会費	8,440,000	一般会員・学生会員	
	寄付金	114,207		
	雑収入	25,606	定期満期利息	
	積立金より	0		
計		8,595,148		
支出の部	事業費	行事等経費	40,000	委員会行事
		大学関連費	0	大学との共催事業
		学生支援事業費	784,815	支援事業
		会議費	221,120	会議交通費
		会報発行費	966,950	会報発行・発送
		通信運搬費	587,943	文書送付・払込手数料
		支部事業補助費	508,246	支部への補助
		事務局管理費	2,520,000	
	管理費	賃貸料	259,200	印刷機リース料
		印刷費	114,152	コピー・インク
		消耗品費	76,524	用紙・封筒他
		名簿管理費	39,050	データ入力
		備品関係費	0	
		雑費	11,361	日用品
		卒業後運営基金	1,926,000	令和3年度入会学生
		予備費	12,287	
	計		8,067,648	
	収支差額		527,500	

令和4年度 京都教育大学同窓会 本部組織

理事	役員	会長	高向 健次	5委員会	
		副会長	増山 亨	大学連携委員会	
		〃	大越 房数	組織委員会・広報委員会	
		運営委員長	齊藤 敦彦	会員活動委員会	
	委員会	組織委員会	長	三宅 康夫	会員活動委員会
			副	安居 昌行	
			蛭子 正幸		
		財務委員会	長	長者 善高	大学連携委員会
			副	(新)岸田 蘭子	
			長	走井 徳彦	
広報委員会	副	山本 早苗	特別参与		
	飯田 一輝				
	深尾 清美				
	谷 早苗				
	中東 朋子				
HP	上野 正智	青木 義照			
HP	山本 弘道				

会計監査	中森 美幸 (新)浅野 伴子
事務局	局長：増山 忠雄 次長：谷口 博志
協力者	林 修 北村 榮朗 植松 迪夫 藤田 加代 上原 文子
顧問	林 伊織 橋本 康二 高西喜久子 廣瀬 賢二 林 弘子 宗村 隆生 辻 迪夫 瀧口 宣男 杉本 弘子 穂積 豊 牧野 修
特別顧問	太田 耕人 学長 浅井 和行 副学長 中 比呂志 副学長 清水 宣彦 事務局長

※新：新着任者、HP：ホームページ担当

令和4年度 事業計画

1. 定期総会 令和4年7月9日(土)

於ホテルオークラ京都

2. 本同窓会の課題：同窓会の活性化を図る

- (1) 会員増を図る取組
- (2) 事業の充実
- (3) 組織の充実
- (4) 入学時入会制に伴う会員の定着化
- (5) 大学との連携充実

3. 委員会活動

- (1) 組織委員会
 - ①組織の活性化及び充実
 - ・令和4年度京都府・京都市採用教員の今年度本学卒業新名簿作成
 - ・京都府内公立学校・園の管理職及び教職員の本学卒業生名簿作成及び入会勧誘
 - ②会員増の取組「ワン・ツー運動」の推進
 - ③学生会員の組織化及び卒業後の対応
- (2) 財務委員会
 - ①財政安定化への取組
 - ・合格者への入会案内
 - ・未加入管理職に入会勧誘
 - ②大学・学生への支援
 - ・同窓会奨学金、学園祭支援、卒業記念品
 - ・「それはかなう夢」講座の後援
 - ③支部事業への財政的援助
 - ・活動に対する補助金
- (3) 広報委員会
 - ①「同窓会だより」91号・92号の発行、同93号(R5.4.15発行予定)の編集
 - ②紙面の充実
 - ③ホームページの改善・充実

(4) 会員活動委員会

- ①「第23回 写真展」 R4. 11. 11(金)～14(月)
〈藤陵祭期間中〉
- ②「第9回 いいとも講演会」 R4. 11. 12(土)
- ③「第54回 囲碁大会」 中止
- ④新規事業の模索
- (5) 大学連携委員会
 - ①専攻代表の選出及び専攻代表者会の運営
 - ・専攻代表(任期2年)の継続・選出・卒業後の専攻代表・学年幹事(2名)の選出
 - ・専攻代表者会の運営
 - ②「あったかトークショップ」の開催(年2回予定 第11・12回)
 - ・専攻代表による企画・運営
 - ・第11回 R4.7.28、第12回 R5.2.1予定(3回生「公立学校インターンシップ交流会」終了後)

4. 企画・運営のための諸会議の開催

役員会、運営委員会、理事会、各委員会、支部代表者会、幹事会、専攻代表者会、特別委員の会、大学との連絡会、大学との懇談会、管理職との集い

5. 各支部等との連携

- (1) 各支部との連携
 - 会員名簿の作成と管理、同窓会費の集金、同窓会だよりの配送、支部事業への支援
- (2) 全国各地の同窓会員との連携
 - 連絡先の把握と支部組織結成に向けた会員名簿の作成

6. 特記事項

3、4の各項目については新型コロナウイルスの感染状況等による変更もある。

専攻代表者会の活動

入学時入会制が始まって七年目。年度初めには、学部十三専攻の学科主任の先生にお願いし、入学間もない一回生の中で専攻代表を選出していただいています。令和元年度には全ての回生で専攻代表がそろい、以降は五十二名の専攻代表者を組織して、午後に授業のない水曜日に『専攻代表者会』を開催しています。

今年度からは、毎回二部制とし、一部(12:05～12:45)では「あったかトークショップ」開催等のテーマでの協議、自由参加の二部(12:45～13:30)では専攻代表者同士の情報交換、同窓会理事との意見交流を行います。学生会員を迎えた同窓会として、『専攻代表者会』は、学生の思いや願いを知り、将来展望の実現に向けた支援の進め方を探る貴重な場となっています。

忙しい学生の昼休みを有効に活用するため、事務局で用意したパンを食べたり、飲み物を飲んだりしながら、より一層学生の声に耳を傾け、学生会員に届く取組を進めていきます。



来年度総会は七月八日(土) ホテルオークラ京都

令和4年度 第23回 写真展要項

開催日時：令和4年11月11日(金)～14日(月)10時～16時(14日は15時まで)
 教育大学の学園祭(藤陵祭)の実施日に合わせて計画
 開催場所：京都教育大学附属図書館 1階企画展示室

—— 作品募集要項 ——

- ①作品出展資格 京都教育大学関係者・写友(一般写真愛好家)
- ②出展作品 一人2点以内(写題は自由) *天地が判るように裏に表示する。
 四つ切りまたはA4版(ワイドは不可) 額は当方で用意します。
- ③申し込みと問い合わせ先
 - ・10月21日(金)までに申し込みはがきに必要事項を記入し、切手を貼って同窓会事務局まで郵送
 - ・申し込みはがきが必要な方は、同窓会事務局まで
 - ・京都教育大学同窓会事務局
 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1
 Tel・Fax 075-644-8353 mail:dosokai@kyokyo-u.ac.jp
- ④勉強会 11月14日(月) 13時～15時
 - ・場所：写真展会場 講師：藤井晶夫氏(日本国際写真連盟会長)予定
- ⑤作品の送付及び返却
 - ・送付日 11月3日(木)までに、同窓会事務局に持参、郵送、宅配で
 - ・返却日 11月14日(月)以降宅配にて返却
 - ・作品を直接事務局へ持参の場合は、あらかじめ事務局へお電話をください。

★ 第23回写真展 学生のみなさんも、是非、ご参加ください!

第9回 いいとも講演会のご案内

令和4年11月12日(土) 13:30～15:00

場所：京都教育大学 D2講義室(D棟3階)

講師：音楽科准教授 田邊織恵先生

演題：「秋を唄う～心に響く歌とは～」



歌唱共通教材より秋の歌を中心に、その歌を深掘りしながら歌っていきたいと思います。楽譜の中に隠れる様々なメッセージを読み解き、自分はどう表現したいのか、心で感じ、言葉と音楽が一体となった時、それは人の心に届く歌となります。

ちょっとしたコツなど実践を交えながら皆さんと一緒に探ってみたいと思います。

編集後記

三年ぶりに同窓会総会を無事実施することができました。感染予防対策のため、恒例の合唱などは実施できませんでしたでしたが、出席いただいた皆様の笑顔を見て、集える喜びを改めて実感いたしました。

コロナ禍の収束が見えない中でも、今年は、祇園祭山鉦巡行、五山送り火が完全な形で実施されました。こんな時だからこそ、先人たちの思いを引き継ぎたいという町衆の思いを感じます。ただ伝統を受け継ぐだけでなく、感染予防を考え、新たな工夫もいろいろされています。

大学でも、キャンパスを歩く学生が増え、グラウンド等でも部活動に汗を流す姿が見られるようになりました。ウイズコロナの新しい形を模索しながら、日常を取り戻そうとしています。

まだまだコロナ禍は収束していません。学校現場では、まだまだ大変な状況が続いています。このような中でも、皆様のご協力を得て、「同窓会だより九十二号」を発行することができました。心より感謝いたします。同窓会も、ホームページの開設など新しい時代に向けて様々な工夫をしています。皆様の益々のご協力をお願いします。

〈編集委員〉

- 走井 徳彦 山本 早苗
- 中東 朋子 深尾 清美
- 谷 早苗 飯田 一輝